

幕末の探検家 松浦武四郎の生地を訪ねて

仙台藩白老元陣屋資料館友の会では、6月7日（木）から9日（土）まで道外視察研修を行いました。

この研修は、資料館来場者に対する展示案内や解説を充実させるためのもので、今回は「北海道命名150周年」を記念して、北海道の名付け親で幕末の偉大な探検家でもある松浦武四郎の出身地、三重県松阪市を訪問しました。

松阪市は、木綿を扱う商人の町として古くから栄えていました。また、松阪を南北に貫く伊勢街道は、伊勢神宮へ詣でる人々が、多いときには500万人も行き来し、様々な物資や文化、情報が行き交いました。街道に面した商家に生まれた武四郎は、全国各地から訪れる人々との交流を通して、見知らぬ土地や文化への関心を高め、旅への意欲を膨らませたのでしょう。

また、やはり豪商の家に生まれながら国学者として名を残した本居宣長も松阪の出身で、その記念館も見学しました。幼い頃から空想の町を凶化したり、ゲームを考案したりと、こちらもちょっと風変わりな生い立ちだったようです。商人のまちという環境が2人のような人物の誕生に繋がったと考えると、より松阪への興味が沸き立ちます。

今回の研修では、各施設の学芸員やボランティアガイドが「おもてなしの心」と熱意を持って説明する姿に触れたほか、ガイド活動の工夫を情報交換するなど、刺激に富んだ内容となりました。北海道の歴史と武四郎の関わり、白老陣屋と武四郎の関わりについては、視察研修のエピソードも添えながら、今後の解説活動へ反映されることになっています。

仙台陣屋 かわら版

第142号

(平成30年7月号)

発行: 仙台藩白老元陣屋資料館

〒059-0912 白老町陣屋町 681-4

TEL&FAX 0144-85-2666

<研修中の一幕>

左上: 松浦武四郎記念館。学芸員から武四郎の足跡を学ぶ。

右上: 武四郎の生家。市指定の文化財として整備されている。

左下: 史跡松阪城址の一角に設けられている歴史民俗資料館。

右下: 幕末の国学者本居宣長に関するテーマ資料館。隣接して宣長の書齋「鈴屋(すずのや)」も移設されている。



げんきなキッズが史跡を探索

白老町の豊かな自然や文化に触れる体験活動を通して、ふるさとの良さを発見する「ゲンキッズ探偵団」の子どもたち6名が、6月16日（土）に陣屋資料館を訪れ、宝探しゲームなどで楽しみました。

子どもたちは、2つのチームに分かれて活動。史跡内に隠された得点カードを探すほか、陣屋のことを楽しく学ぶことのできる課題（ミッション）にも取り組みました。陣屋内にあった屋敷の柱の数を確認する課題では、150本を超える柱が使われる大規模な長屋が建設されていたことを知り、驚いていました。

屋外での活動に続いて、陣屋資料館内で学芸員からの解説を聞き、仙台藩の家紋や赤松の保全の歴史について学びました。子どもたちは、ゲームの景品として渡された赤松せんべいをほおばりながら、「勉強になったなあ」「また陣屋で活動してみたい」などの感想を出していました。



大切な赤松を守るため

資料館友の会が指定寄付

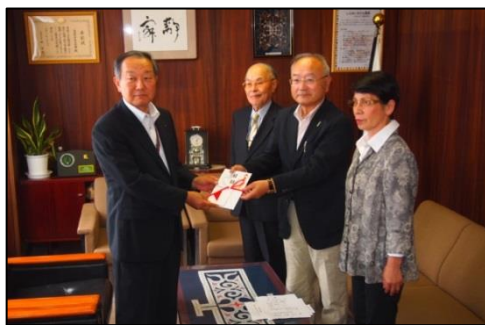
6月5日（火）、仙台藩白老元陣屋資料館友の会から、史跡内の赤松保全のため、30万円の指定寄付をいただきました。

道内最古で今年162歳となる赤松は、仙台藩土が500本ほど苗木で植えたとされるなかの最後の1本です。そのため友の会では、赤松の保全を進めるための資金を集めるため、資料館内で「銘菓赤松せんべい」を委託販売。平成23年にこの赤松を支える支柱を交換した時にも、売上金から20万を寄付していただきました。

安藤教育長へ目録を手渡した川西政幸会長は、「歴史の生き証人であり、道内最古の赤松でもある。維持管理役立てて欲しい」と述べ、友の会としても引き続き来館者へPRして行くことを熱く宣言されました。

町教委では今回の寄付金を赤松の支柱交換に活用。6月末には作業を完了する予定です。

なお、藩士たちの遺産を未来へ継承して行くには、多くの方々のご協力が不可欠です。赤松せんべいは日持ちもしますので、贈り物としてもお勧めです。ぜひ「愛顧」ください。



— 縄文時代のお墓から文化を学ぶ —

北海道埋蔵文化財センター（江別市西野幌）では、企画展『北の縄文 縄文文化の墓』を7月7日（土）から9月30日（日）まで開催します。白老町のアヨロ遺跡から出土した土器や石器も展示されるなど、道内各地の貴重な資料が集まります。また、期間中は骨角器やアクセサリを作ったり、実際に土器に触ったりすることができる体験会も催されます。いずれも無料ですので、ぜひ家族連れでご観覧・ご参加ください。

「仙台陣屋かわら版142号（平成30年7月号）」

発行日：平成30年6月19日（火）

発行所：仙台藩白老元陣屋資料館 担当者 平野

http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/bunka/jinya/ TEL:055-260006

Mail: jinya@town.shiraoi.hokkaido.jp